

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年5月14日(2020.5.14)

【公開番号】特開2020-48753(P2020-48753A)

【公開日】令和2年4月2日(2020.4.2)

【年通号数】公開・登録公報2020-013

【出願番号】特願2018-179800(P2018-179800)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年2月28日(2020.2.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を実行する遊技機であって、

特定演出表示が表示されているときに、可変表示に対応した対応表示を表示可能な対応表示手段と、

対応表示の表示態様を変化させる変化演出を実行可能な変化演出実行手段と、

対応表示に作用する作用演出を実行可能な作用演出実行手段と、を備え、

前記変化演出を実行するときに、前記変化演出の対象となる対応表示の視認性を前記特定演出表示の視認性よりも高くすることが可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

手段Y1の遊技機は、

可変表示を実行する遊技機であって、

特定演出表示が表示されているときに、可変表示に対応した対応表示を表示可能な対応表示手段と、

対応表示の表示態様を変化させる変化演出を実行可能な変化演出実行手段と、

対応表示に作用する作用演出を実行可能な作用演出実行手段と、を備え、

前記変化演出を実行するときに、前記変化演出の対象となる対応表示の視認性を前記特定演出表示の視認性よりも高くすることが可能である

ことを特徴とする。

このような構成によれば、特定演出表示よりも変化演出の対象となる対応表示に注目させることができとなり、変化演出の興奮を向上させることができる。

手段W1の遊技機は、

可変表示(特別図柄の変動表示、飾り図柄の変動表示、小図柄の変動表示)を実行する遊技機(パチンコ遊技機1)であって、

特定演出表示（リーチ演出画像（バトル演出に関する画像））が表示されているときに、可変表示に対応した対応表示（保留表示、アクティブ表示）を表示可能な対応表示手段（演出制御用CPU120）と、

対応表示の表示態様を変化させる変化演出（アクティブ表示01TM001の表示態様を変化させる演出）を実行可能な変化演出実行手段（演出制御用CPU120）と、を備え、

前記変化演出を実行するときに、前記変化演出の対象となる対応表示の視認性を前記特定演出表示の視認性よりも高くすることが可能である（図14-7（18）～（19）等に示すように、ブラックアウト演出によりリーチ演出画像（バトル演出に関する画像）を視認困難状態としたまま、アクティブ表示01TM001を画面中央で拡大表示することで、アクティブ表示01TM001の視認性をリーチ演出画像（バトル演出に関する画像）の視認性よりも高くして、その状態でアクティブ表示01TM001の表示態様を変化させる演出を実行する）

ことを特徴とする。

このような構成によれば、特定演出表示よりも変化演出の対象となる対応表示に注目させることができとなり、変化演出の興奮を向上させることができる。